



第41期 I-O DATA REPORT

平成27年7月1日 ▶ 平成28年6月30日

株式会社 アイ・オー・データ機器

証券コード：6916

デジタルとアナログを「アイ」でつなぐ。
これからも小さな感動を提供し続けます。

おかげさまで、本年アイ・オー・データ機器は40周年を迎え、東京証券取引所の市場第一部に上場いたしました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、昭和51年に繊維関連のシステム開発で創業して以来、マイコンからパソコン、デジタル家電、そしてスマートフォンへと、進化するコンピューター／ITデバイスの周辺機器を開発し続けてまいりました。いつの時代も私たちが変わらず追求してきたものは、世の中の誰もが簡単に、アナログ感覚で最新のIT機器を利用できるようにすることです。

デジタルとアナログをつないで、生活がちょっと便利になる感動を味わえる…

そんな商品やサービスを10年後も、50年後も、愛をこめてお届けできる私たちが在り続けたいと考えております。社員一同、皆様の声に耳を傾け、より豊かで快適な社会の実現を目指してまいりますので、変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長

細野 昭雄



■ ご案内 ■

当社では、ステークホルダーの皆様当社の様々な活動をご理解いただくため、これまで事業報告等を中心とした「株主通信」と、環境に関する報告を中心とした「環境報告書」を発行してきましたが、本年より、当社の活動をより分かりやすくお伝えするために、「株主通信」と「環境報告書」を統合し、「I-O DATA REPORT」を発行することにいたしました。

「I-O DATA REPORT」を通じ、当社の様々な活動に関して、皆様のご理解を深めていただければ幸いです。

当期の概況

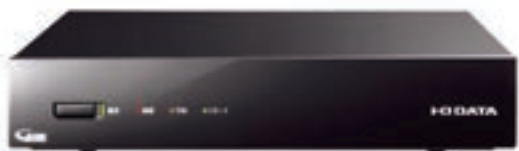
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益は総じて高い水準を保ち、雇用情勢等には改善が見られましたが、個人消費は勢いに欠く状況が続き、新興国の景気減速や資源安、年明け以降の円高・株安の進行により、先行きの不透明感は強まりました。

当社グループに関係するパソコンや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の市場では、パソコンやTV関連分野の不振が続く中、比較的堅調にあったスマートデバイスも普及一巡により成長の頭打ちが見えてきました。

このような状況の下、当社グループは、多様化するデジタルライフ、高度化するビジネスシーンを支え得る魅力的な商品・サービスの拡充を加速し、より細かな更新需要の取り込みと新市場の創造に努め、デジタル機器本体の出荷動向に左右されにくい収益体質作りを進めてきました。

売上高については、パソコンやTV関連分野の不振をスマートデバイス向けの新提案や液晶モニターのシェアアップ、近年増強を進めてきた自社のラインナップを補完するグローバルブランド商品の販売増により、449億46百万円（前期比9.2%増）となりました。利益面につきましては、増収により売上総利益は増加しましたが、変動費や新市場開拓に係る費用等も増加したため、営業利益は前連結会計年度並の11億49百万円（前期比0.7%増）となりました。以下、前連結会計年度との比較において為替差益が減少したことにより、経常利益は13億34百万円（前期比14.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億49百万円（前期比3.8%減）となりました。

DVDミレル
(DVRP-W8AI)



REC-ON (HVTR-BCTX3)

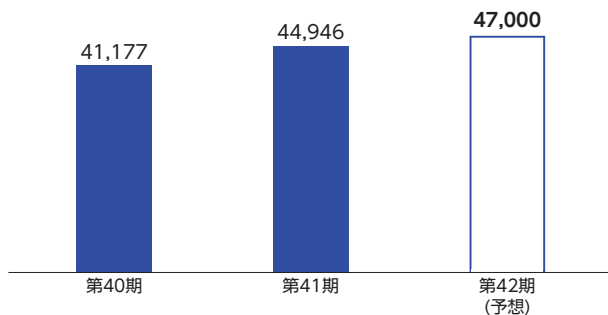


LCD-RDT242XPB

連結財務ハイライトと業績予想

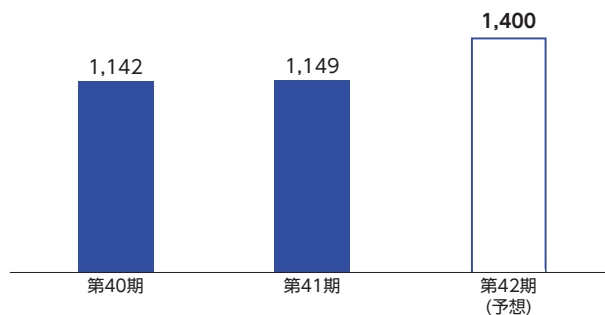
売上高

(百万円)



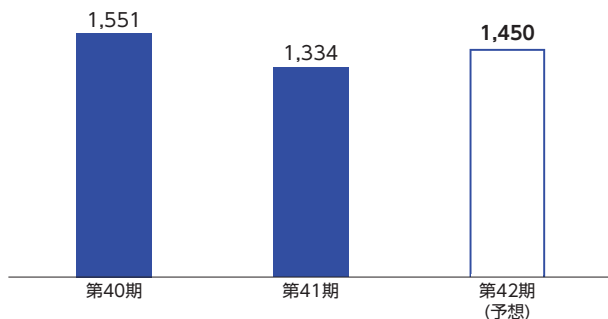
営業利益

(百万円)



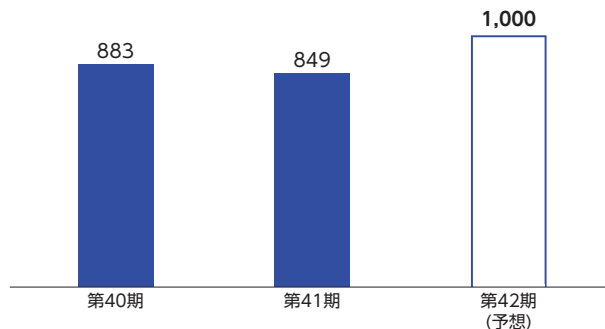
経常利益

(百万円)



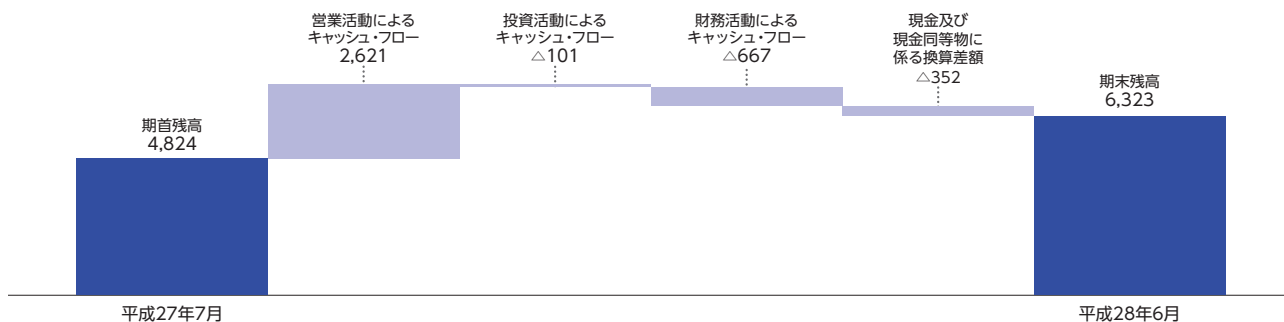
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



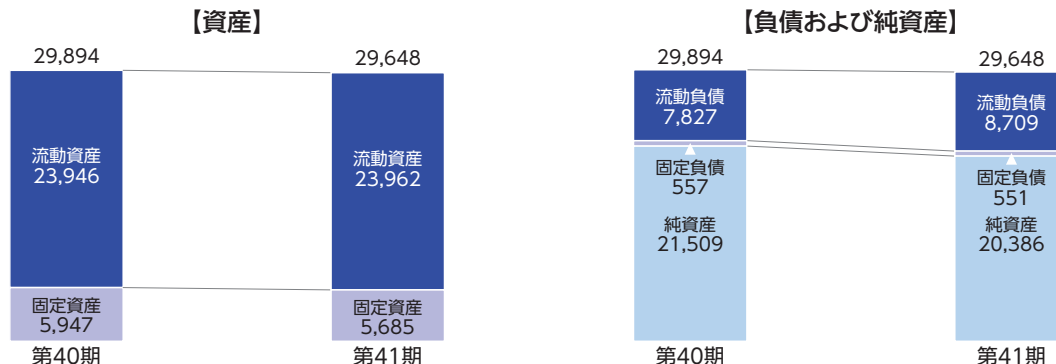
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



■ 連結貸借対照表

(百万円)



次期の見通し

今後の経営環境につきましては、国内景気は緩やかながらも回復基調が続くことが期待されますが、地政学的リスクや英国のEU離脱問題の世界経済への影響、新興国の景気動向等への懸念から、先行き不透明感は増しております。

当社グループに関係するパソコンや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の市場は、足下では全般に力強さに欠く状況にありますが、社会への浸透が進む情報通信技術は、様々な方面で期待が高まるIoT等の新たなサービスを生み、一方で、情報セキュリティやプライバシー保護の高度化が望まれる等、当社グループの有する技術やアイデア、サービスを発揮する機会は日々拡大しております。

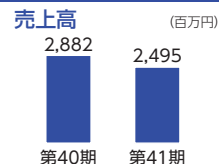
こうした状況の下、当社グループは平成28年1月に創業40年を迎え、特注システム開発に始まる創業の原点に立ち返り、今一度お客様本位の価値提案に集中し、着実な成長を目指しております。お客様にとって最適な商品・サービスを追求し、自社のラインナップに磨きをかけるとともに、他社の魅力的な商品・サービスの採用や連携も積極的に進め、その実現に努めてまいります。業種、地域別等の市場特性に応じた密着営業とサポート体制の充実を通じて、お客様との安定的かつ長期的な関係づくりを目指してまいります。

次期の連結業績予想につきましては、液晶モニターやグローバルブランド商品の販売増加を見込み、売上高は470億円（前期比4.6%の増収）を予想しております。利益面につきましては、予想為替レート105円／USドルの前期比円高を前提に、商品や部品の輸入価格の下落を見込むため、売上総利益は85億円（前期比7.9%増、利益率は0.6ポイントの改善）を予想いたします。また、増収にともなう物流関連費用の増加の他、新市場開拓に係る研究開発費等を増額し、販売費及び一般管理費は71億円（前期比5.6%増）を計画しておりますため、営業利益は14億円（前期比21.7%増）を予想いたします。営業外収益および営業外費用は、過去の実績水準を勘案の上、恒常的に発生が見込まれる事項を見込み、経常利益は14億5千万円（前期比8.7%増）を予想いたします。以下、税金費用他4億5千万円を差し引き、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円（前期比17.7%増）を予想しております。

部門別 営業の概況

■ メモリ

メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリ、メモリモジュール共に、販売台数の落ち込みが軽微ながら、半導体市況の下落が響き減収となる。



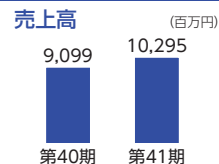
■ ストレージ

ハードディスクは、パソコンやTV関連分野の不振等から伸び悩む。光ディスクドライブは、音楽CDを直接スマートフォンに取り込める「CDレコ」、DVDビデオをスマートデバイスで視聴する「DVDミレル」の発売に一服感が出始める。



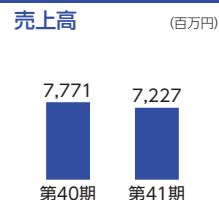
■ 液晶

マーケットシェア首位をより強固にすべく、ラインナップや販路のウィークポイントの改善・強化に努めた他、先進モデルの拡充、サービス面の強化に取り組む。



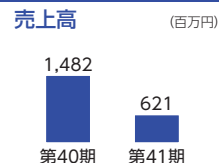
■ 周辺機器

マルチメディア・AVeL（映像関連分野）は、新世代のネットワークTVチューナー「REC-ON」・「テレキング」の発売により、TV・スマートデバイス向けは増収に転じたものの、PC増設用の不振が響き減収となる。ネットワーク分野は、有線LAN関連の不振に加え、企業モデルは伸びるものの個人モデルの不振からNASも僅かに減収。当期では、ハイレゾ音源を楽しむネットワークオーディオの普及に合わせ、音質にこだわるユーザーのための新ブランド『fidata（フィダータ）』を立ち上げ、高級ネットワークオーディオサーバーを発売。



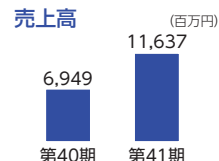
■ 特注製品

OEM主体から新規事業開発に営業の軸足を移している影響から減収となる。



■ 商品およびその他

サムスン電子のSSDの販売伸張、WDの販売本格化による増収に加え、期中の競合2社・4ブランド撤退による影響から、光ディスクメディアを中心とするVerbatimの販売が伸張し、大幅に増収。



■ 東京証券取引所第一部銘柄に指定されました

平成28年2月5日、当社の株式は、東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されました。



■ 平成28年度金沢市女性活躍促進モデル企業に認定されました

平成28年6月1日、当社は、女性活躍を視野に入れた職場環境改善等に積極的に取り組む企業として「金沢市女性活躍促進モデル企業」に認定されました。

当社はこれからも「女性も活躍できる企業」を目指し、働き方の見直しに取り組んでまいります。



■ 商品売上の一部を熊本地震の義援金として寄付いたしました

平成28年4月下旬に発売した、俳優・アーティストの松崎しげる氏とのコラボレーション商品「アイのUSBメモリー」の売上の一部となる101万6921円を、熊本地震の被災者支援に役立てていただくため、義援金として寄付いたしました。被災地の一刻も早い復旧を心からお祈り申し上げます。



■ 地域貢献活動

当社は、当社が所在する地域とのより良い関係を構築・維持できるよう努めています。また地域の一員として地域発展やより良い環境づくりに貢献できるよう、さまざまな取り組みをしています。

● 取り組みの一例

- ・金沢エコ推進事業者ネットワークの会員企業向けのセミナーにて当社の「CO₂削減に対する取組事例」を紹介



- ・当社の本社社屋の近くを流れる河川「犀川」を地元ボランティアグループ「犀川河川愛護会」と共に清掃



永く愛され続けるアイ・オー・データの商品たち

■ 液晶ディスプレイ

アイ・オーの液晶ディスプレイは信頼の「5年間保証」を実現しました。さまざまな品質向上への取り組みを背景とした、こだわりの「5つの安心」がその支えとなっています。

ラインアップも、圧巻の「4K&40型モデル」や高度な映像技術が搭載された「ゲーミングモデル」、カメラユーザー向けの「広色域モデル」、学校教室向けの「10点タッチパネルモデル」など、拡がりを見せています。今後はスティック型パソコンやアプリとの組み合わせによって、お客様のニーズに沿ったあらゆるソリューションを提案していく、“コンポーネント”戦略を展開してまいります。



■ ハードディスク (USB接続型／ネットワーク接続型)

スタンダードな外付型のハードディスクやテレビ録画用のモデルを始めとして、40周年記念の金箔仕様モデルや、これからも末永くご愛用いただきたいとの思いを込め、金沢の文化財「成翼閣（せいそんかく）」で利用されている色をモチーフにした「ミレニアム群青®」カラーのデザインモデルなども登場しました。

ネットワーク接続型（NAS）も、法人向けのセキュリティ強化ソリューションなどを幅広く提案するとともに、個人向けのモデルも新しい展開をみせました。

特に、「ネットワークオーディオサーバー」を開発し、高級オーディオ市場へと初進出。新ブランドの「fidata（フィダータ）」はオーディオユーザー様や業界関係者様からも高い評価をいただいています。



■ スマートフォン・タブレット周辺アイテム

好評を博し続けているCDレコシリーズの新ラインアップとして、CDの直接取り込みはもちろん、DVDもスマホやタブレットで視聴できる「DVDミレル」が登場。映像も音楽も幅広く楽しめる商品に進化しました。

さらにCDレコアプリも、ユーザー様から要望の高かったプレイリストなどの新機能を追加。永くご利用いただけることを目指しています。

また「録画テレビチューナー」シリーズも新モデルが登場。ハードディスクと組み合わせて長時間＆複数番組同時録画が可能になるレコーダー用途や、スマホ・タブレット・パソコンで外出先からでも見られる機能など、テレビの楽しみ方を広げる商品となっています。



■ ネットワーク関連アイテム

ネットワーク関連の商品ラインアップも拡充。新たに「360（さんろくまる）コネクト」技術を搭載した、つながりやすい無線LANルーターや、人感や気温・湿度など5つのセンサーが備わったフルHD対応のIoTネットワークカメラ「Qwatch」が新登場しました。



■ 記録メディア

大切な思い出を数百年先まで末永く残すため、MOに代わる新たな記録メディアをご提案。

100年以上も保存データが消えないと言われているM-DISCと対応ドライブのラインアップを充実させ、新たな価値を提供してまいります。



環境方針

「事業活動と自然との調和共生」

アイ・オー・データ機器は、顧客の期待に応え社会に貢献することを企業理念とするとともに、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や商品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

41期環境目標と実績

	環境行動指針	部門目標のうち 環境マネジメントシステムに関する目標	評価
1	商品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。	省エネ等環境配慮含む主要製品の販売予算を達成する。	一部達成
2	事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。	業務効率化を追求する。 その結果、時間外勤務・休日出勤を削減し、建物の稼働時間を抑え、電気・灯油の使用量を削減する。	達成
3	事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。	最適な生産・販売数の立案と市況変化に応じ迅速に対応する。	達成
		滞在在庫を削減する。	一部達成
4	事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。	かけるコストから得られる効果を最大限に引き出す。 (購入品目のコスト低減、工程不良の削減、着荷の信頼性向上、物流管理費の削減)	達成
5	環境に関する情報開示に努める。	ユーザーに届ける情報（OUTPUT）の一気通貫した「世界観」を発信する。	達成

【総評】

当期、従来行っていた省エネ機器への改修に加え、ノー残業デーの告知見直し等ソフト面での業務改善によりCO₂排出量の目標を達成しました。

また残業時間を見える化した「残っタワー」(I♡DESK (アイラブデスク) プロジェクト) を公開することで、社内の良い取組みを、社外の皆さまに活用してもらうことで、省エネ活動の根底にある地球温暖化防止等、社会貢献活動に繋げることが出来ました。これらの活動を継続的に実施し、業務の本質を考えつつ、良い会社への進化に繋がる活動を模索していきます。

■ 主要な環境パフォーマンスの指標の推移※1

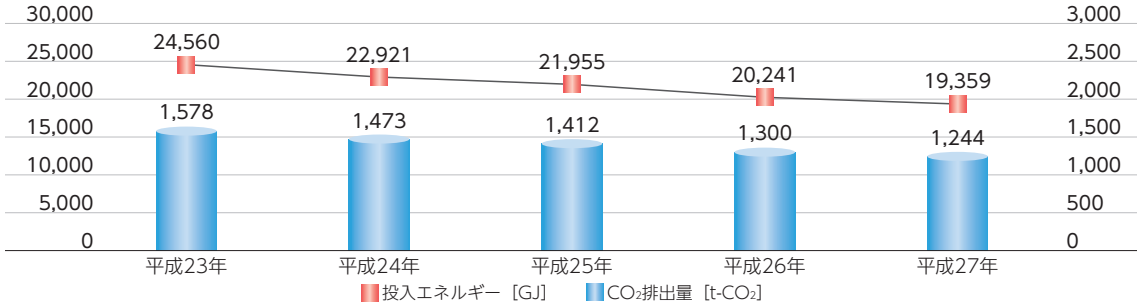
報告対象期間（期＝7/1～6/30）		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
電力使用量（営業所含む）	(1,000kwh)	1,926	1,780	1,661	1,548	1,511
灯油使用量	(kl)	146	141	147	131	117
投入エネルギー	(GJ)	24,560	22,921	21,955	20,241	19,359
CO ₂ 排出量 ※ 2	(t-CO ₂)	1,578	1,473	1,412	1,300	1,244
一般廃棄物	(kg)	79,810	26,100	27,220	39,160	34,380
産業廃棄物	(kg)	18,535	17,059	25,364	22,406	51,239
特別管理産業廃棄物	(kg)	—	—	5	—	—
総廃棄物量（a）	(kg)	98,345	43,159	52,589	61,566	85,619
リユース（b）※ 3	(kg)	62,055	97,611	542,656	523,940	524,620
有価物（c）	(kg)	68,251	142,963	137,762	124,654	115,600
総排出量（a+b+c）	(kg)	228,650	283,734	733,007	710,160	725,839
グリーン購入率	(%)	97%	90%	95%	91%	92%

※1：報告が必要な温室効果ガス（非エネルギー起源CO₂、メタン、N₂O、HFC、PFC、SF₆）の排出はありません。

※2：CO₂排出量のうち、電力の排出係数は、平成27年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。

※3：平成25年より木製パレットの再利用について本社倉庫に加えて外部委託倉庫を追加計上したため増加しております。

■ 温室効果ガスの推移



■ 製品回収リサイクルの実績

● 資源有効利用促進法に基づく実施状況「液晶ディスプレイ」

期 間	家庭系 事業系	回収重量 (kg)	回収台数 (台)	再資源化処理量 (kg)	資源再利用量 (kg)	資源再利用率 (%)
平成27年4月～ 平成28年3月	事業系	676.3	125	16,046.1	13,830.0	86.2
	家庭系	15,369.8	2,841			
	合 計	16,046.1	2,966			

株主様アンケートのお願い

当社では、株主の皆様のお声を今後のIR活動（企業から投資家の皆様への情報提供活動）に役立てていくため、今年も、株主の皆様（平成28年6月末現在）を対象に、アンケートを実施させていただくことといたしました。お手数ではございますが、インターネットまたは郵送にて、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

アンケート実施期間：平成28年9月28日 ～ 平成28年10月31日 消印有効

★ アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で ステキな商品をプレゼント !!



4K40型 ディスプレイ LCD-M4K401XVB
★ **1名様にプレゼント**



（当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。なお、発送は11月中旬頃を予定しております。）

回答方法

1 インターネット

下記URLよりアンケート専用Webサイトへアクセスしてください。

www.iodata.jp/kabunushi/

ログインID **iodata41 (半角)**

ログイン用パスワード **「株主番号」を半角で入力してください。**

2 郵 送

インターネットを利用されない場合は、右ページのアンケート用紙にご記入のうえ、郵送してください。

なお、ご記入後は、お手数ですが、のりしろ箇所にのり付け後、投函していただきますようお願いいたします。

※「株主番号」はプレゼントの発送時に必要となりますので、お忘れなくご記入ください。

「株主番号」は、同封の「期末配当金計算書」の右上に記載されている 8桁 の番号です。

(例) 12345678
「株主番号」

（株主様アンケートによりお伺いした個人情報は、今後のIR活動の参考およびプレゼントの発送の目的にのみ使用し、第三者への提供は一切行いません。）

アンケート

回答は、該当する□に✓をつけてください。

この点線で谷折りにしてください

==== ご協力ありがとうございました =====

※本書面はアンケートにつき、住所変更等 株主名簿
管理人の行う諸手続きを依頼するものではありません。
また、ご質問を記入いただきましても、お返事はいたし
かねますので、何卒ご了承ください。

株主番号								(8桁です)
年齢	1. ～20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代～							ご性別 男 ・ 女
職業	1. 会社員 2. 会社役員 3. 公務員 4. 自営業 5. 主婦 6. 学生 7. 無職 8. その他 (							

下記『ご住所』欄は、本I-O DATA REPORTのお届け先と現住所が異なる場合にのみご記入ください。

住 所						都 道 府 県	区 市 郡
	町 村						



料金受取人払郵便

金沢中央局
承認

9421

9 2 0 8 7 9 0

差出有効期限
平成28年10月
31日まで

(切手不要)

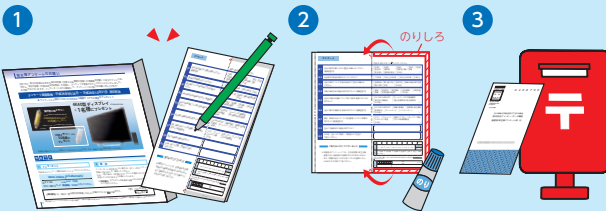
石川県金沢市桜田町三丁目10番地
株式会社アイ・オー・データ機器
管理部 株主様アンケート係 行



この点線で山折りにしてください

切り取り線

郵送時にはお手数ですが、必ずのり付けをお願いいたします。



必要事項をご記入いただき、
切り取り線に沿って切り取ります。

「のりしろ」部にのりを付け、
「谷折り」線で折り、
貼り付けます。

切手を貼らずに、
ポストへご投函ください。

会社の概要／株式情報

会社概要 (平成28年6月30日現在)

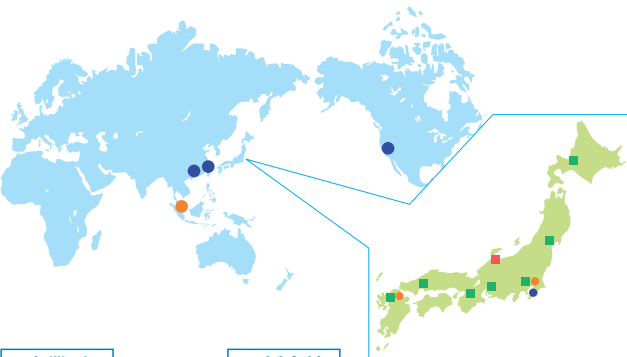
商 号 株式会社アイ・オー・データ機器
I-O DATA DEVICE, INC.
設 立 昭和51年1月10日
資 本 金 35億8,807万円
従業員数 449名 (単体)
489名 (連結)

役 員 (平成28年9月27日現在)

代表取締役社長 細 野 昭 雄
専 務 取 締 役 池 田 信 夫
常 務 取 締 役 濱 田 尚 則
取 締 役 加 藤 啓 樹
◎取 締 役 新 田 義 廣
◎取 締 役 丸 山 力
常 勤 監 査 役 池 田 雅 勝
※監 査 役 松 木 浩 一
※監 査 役 中 村 和 哉
※監 査 役 長 原 悟

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付しております。

当社グループ (平成28年6月30日現在)



事業所

■ 本 社 (金沢市)
■ 営業所
東京 オフィス
大阪 営業所
札幌 営業所
仙台 営業所
名古屋 営業所
広島 営業所
福岡 営業所

関係会社

● 子会社
国際艾歐資訊股份有限公司
艾歐資訊香港有限公司
I-O DATA America, Inc.
ITGマーケティング株式会社
● 関連会社
I-O & YT Pte. Ltd.
株式会社デジオン
クリエイティブ・メディア株式会社

株式の状況 (平成28年6月30日現在)

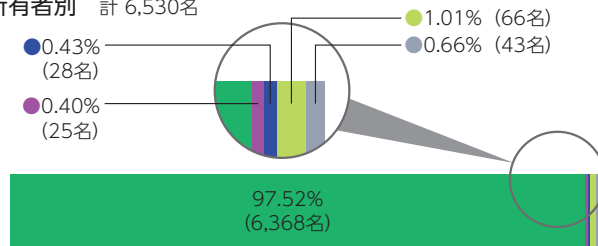
発行可能株式総数 41,000,000株
発行済株式の総数 14,839,349株
1単元の株式の数 100株
株主数 6,530名

大株主 (平成28年6月30日現在)

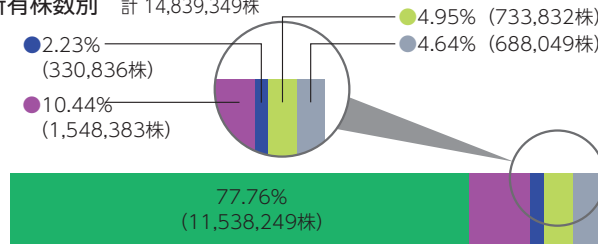
株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
細 野 昭 雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	1,946,756	13.11
細 野 幸 江	763,780	5.14
株式会社北國銀行	306,662	2.06
有限会社トレント	269,675	1.81
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	216,800	1.46
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	214,899	1.44

株式分布状況 (平成28年6月30日現在)

所有者別 計 6,530名



所有株数別 計 14,839,349株



● 個人・その他 ● 金融機関 ● 金融商品取引業者
● その他の国内法人 ● 外国法人等

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月開催
基準日 定時株主総会 毎年6月30日
期末配当金 毎年6月30日
中間配当金 毎年12月31日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日
公告方法 電子公告により当社のホームページ
に掲載します。(http://www.iodata.jp/)
ただし、やむを得ない事由により電
子公告ができない場合は、日本経済
新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6916

ご注意

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種手続きについて

原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。

■特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

■未払い配当金について

未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。当社定款の定めにより、支払開始の日から満3年を経過しますとお支払いできないこととなりますので、お早めにお受け取りください。

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

石川県金沢市桜田町三丁目10番地
URL <http://www.iodata.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。